

沖縄学習センター

(コード：47A)

沖縄学習センター案内図

☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ー儀保ー旧琉球大学病院前ー琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー沖縄国際大学前ー琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール

(経路) 那覇空港駅ー……ー首里駅ー石嶺駅ー経塚駅ー浦添前田駅ーてだこ浦西駅(終点)

※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

(昼食について)

・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間: 土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2678764	授 業 概 要	【授業内容】 この講義に副題をつけるならば、『大人の常識が子どもたちの未来を破壊する』とでもなるでしょう。 私たち大人の99%の人がお金に対して誤解をしているため、未来の子どもたちに大変なつけを残すことになるのです。それを防ぐには、私たち大人一人ひとりがお金に関しての正しい認識を持ち、それをひろげることが急務です。 この講義では、お金に関しての正しい認識を持つための基礎をゆっくり学んでいきます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 信用創造について理解し、お金がいつ生まれ、いつ消滅するのかを説明できるようになる。 そして、国の財政や税金についての正しい判断ができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 衰退国家日本！？ 第2回 国民ひとり当たり1000万円の借金ってどういうこと？ 第3回 消費税は何パーセントにするべきなんだろう 第4回 お金の正体、お金はいつ生まれていつ消えるのか 第5回 国債発行の仕組みを知ろう 第6回 税金の役割と消費税 第7回 君たちはまだ長いトンネルの中 第8回 子どもたちの未来のためにどうすべきか
科目名	お金についての 本当の話		【学生へのメッセージ】 この講義では、知ってるようで本当は知らない身近なお金というものの本当の姿を知ってもらうのが目的です。 国民一人一人がお金についての正しい知識を持つことで、財政や税金などを正しく見る眼鏡を手に入れましょう。
科目区分	基盤科目		【受講前の準備学習等】 国の借金はどうすべきか？消費税は何%にするべきか？を自分なりに調べ、考えておいてください。
ナンバリング	120		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆 則 沖縄学習センター 客員准教授		【参考書】 ・目からウロコが落ちる奇跡の経済教室【基礎知識編】(中野剛士/ベストセラーズ/¥1760/ISBN=9784584138953) ・MMT講義ノート(島倉原/白水社/¥2,200/ISBN=9784560094334) ・学者が見落としたお金の仕組み 国家財政破綻論の破綻を数学的に証明(児保祐介/微風出版/¥1,760/ISBN=9784434309731)
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2678810	授 業 概 要	【授業内容】 なぜアンガーマネジメントが必要とされるのか？アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを深く理解することにより職場や日常生活の場で楽しい日々を暮らすことができるヒントに気づかされます。本授業ではアンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを含めた演習を行います。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションについて理解し、説明ができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 アンガーマネジメントとは？アサーティブコミュニケーションとは？何か！理解を深める 第2回 自分の怒り感情と上手に向き合う 第3回 事例でわかるアンガーマネジメント 第4回 職場での怒りとはどんなもの？ 第5回 アサーティブコミュニケーションを活用した怒りのコントロール 第6回 急な怒りを静める対処術 第7回 怒りの体質改善に効くエクササイズ 第8回 やってはいけない怒り方、上手な怒り方まとめ
科目名	介護現場の アンガーマネジメント		【学生へのメッセージ】 職場や家庭、人々との日常生活にも、どこにでも活用できるアンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを一緒に学びましょう。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 受講前に箇条書きにまとめておいてください。 ①日常生活で自分自身が怒りたくなる場面や嬉しいと思える言葉。 ②アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを学び、職場や家庭、人々との日常生活にどのように活かしたいのか。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	オオワン トモコ 大 湾 知 子 沖縄学習センター 客員准教授		【参考書】 ・介護職スキルアップブック手早く学べてしっかり身につく！介護現場のアンガーマネジメント（梅沢佳裕／秀和システム／¥1,760／ISBN=9784798070704） ・アンガーマネジメント11の方法 怒りを上手に解消しよう（著者：ロナルドT.ポッターエフロン、パトリシアS.ポッターエフロン、監訳：藤野京子／金剛出版／¥3,740／ISBN=9784772415132） ・アンガーマネジメント トレーニングブック（日本アンガーマネジメント協会／ミネルヴァ書房／¥2,200／ISBN=9784623096466） ・マンガこころbooksこころのクセを考える まじめA子ちゃん、おおいにさとる（監修：越野好文、作・画：志野靖史、おおはなヒマワリ／講談社／¥1,320／ISBN=4061558048）
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2668777	<p>【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの書き方 第2回 実験1「心的回転」の実施 第3回 実験1「心的回転」の解説 第4回 統計的分析、レポートの書き方 第5回 実験2「自由再生による系列位置効果」の実施 第6回 実験2「自由再生による系列位置効果」の解説 第7回 統計的分析、レポートの書き方 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、ワード、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 ・教科書を持参してください。</p> <p>【教科書】 ・心理学実験を学ぼう！（小河妙子・斉藤由里・大澤香織／金剛出版／¥2420／ISBN=9784772411608）</p> <p>【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	フルカワ タカシ 古川 卓 琉球大学 保健管理センター教授	
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2678780	【授業内容】 本授業の目的は、英語での基本的なスキルを向上させるため、基本的かつ重要な文法や英語表現を学び、その学んだ事項を英会話や英文読解などの運用能力を高めることです。授業では、受講生間のインタラクションも取り入れて、交流も深めていくことにしています。間違いを気にすることなく、積極的に参加して楽しんでくれることを期待しています。 【到達目標】 基本的なスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを高め、基本的英文法と英語表現について理解を深め、英語でのコミュニケーション能力を高めることができる。 【授業テーマ】 第1回 基本文型と文の種類 第2回 動名詞、不定詞、分詞と慣用表現 第3回 関係詞（関係代名詞と関係副詞）と慣用的表現 第4回 比較級、仮定法と慣用的表現 第5回 時制（過去形、現在形、未来形）とJournalの書き方 第6回 現在完了形と受動態 第7回 WH疑問文と会話に役立つ基本的表現 第8回 英文読解と要約文の作り方 【学生へのメッセージ】 Let's enjoy your progress! 英語は実技ですから、可能な限り話し、聞き、読み、書いてみましょう。また、英検2級、準2級にも挑戦してくれることを期待します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、文法事項等の自己学習に取り組んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 英語辞書（電子辞書可）、ノートをご持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	基本英文法と英語表現	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	20名	
担当講師	シモジ トシヒロ 下地 敏洋 沖縄学習センター 客員教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 小講義室	

科目コード	2668769	<p>【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（目撃者証言、ミュラー・リヤー錯視、心理尺度）を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者（協力者）として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第4回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第6回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実施 第7回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第8回 まとめとレポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得しておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2668610	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、ウェブページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	【到達目標】 パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。
ナンバリング	110	
定員	20名	【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）
担当講師	クニタ イツキ 國田 樹 琉球大学工学部准教授	
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
実施会場	沖縄学習センター 実習室	授業概要 【受講前の準備学習等】 「学生生活の葉」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。
		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 (a)（履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。 (b)「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。 (c)充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2678799	授 業 概 要	【授業内容】 ゲーム理論は複数の人々が意思決定に関して相互作用する状況を分析する理論で、政治・経済を含むさまざまな人間の社会活動とその結果を分析する上で有用な思考ツールとして定着しつつあります。この講義ではゲーム理論の考え方を現実社会で生じうる状況を通じて学びます。 講義方法は下記のとおりです。 ①受講生を被験者とした簡単なゲームの実験をいくつか行います。またゲーム実験の後、自分の行動の選択理由について意見を交わします。 ②適宜、グループディスカッションなど取り入れる場合があります。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 1. ゲーム理論の基本的考え方を理解できる。 2. 日常生活のなかでゲーム理論の考え方を応用することができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 戦略的に行動しようーゲーム理論の世界 第2回 思い通りにならないー囚人のジレンマ 第3回 相手の視点で考えるー失敗しないための心得 第4回 みんなわかっているのに抜け出せないー変えたくても変わらない理由 第5回 ゴールから考えるー逆算の哲学 第6回 優柔不断がチャンスを逃すーあえて退路を断つ 第7回 有利な交渉の進め方ー交渉は最後が勝負 第8回 理論と現実のズレーゲーム実験が示す意外な結果
科目名	ゲーム理論		【学生へのメッセージ】 講義は、受講生の皆さんと意見交流を行いながら進める予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。
科目区分	導入科目：社会と産業		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	210		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ホリ カツヒコ 堀 勝彦 琉球大学 国際地域創造学部准教授		【参考書】 ・ゼミナールゲーム理論入門（渡辺隆裕／日本経済新聞出版／¥3,850／ISBN=9784532133467）
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2678829	授 業 概 要	【授業内容】 医学と医療の進展には目覚ましいものがあります。一方で現代医療は多くの問題を抱えています。また、医療従事者は30以上の職種に分かれています。どの職種に従事しても専門的知識や専門的技術だけでは、医療従事者として十分ではないことは明らかです。加えて我々が患者になった時、どのような態度・考え方で医療従事者に接すれば良いのでしょうか。本科目では、「医学と医療とは何か、どのように発展してきたか、現代医療はどのように行われ、どのような問題を抱えているのか」について、いくつかのテーマを選び、わかりやすく説明させて頂く予定です。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 1.西洋医学の歴史の中で重要な内容と現代医療の成り立ちについて理解し、説明できる。 2.疾病の原因を遺伝因子、環境因子、生活習慣、加齢などと関連づけて理解し、説明できる。 3.少子高齢化社会における日本の医療供給体制の問題点を説明できる。 4.医療倫理の変遷と倫理問題について考察し、グループ討論で自分の考えを発表できる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 西洋医学の歴史と現代医療の成り立ち 第2回 健康と疾病1 (健康の意味と疾病の原因としての遺伝と環境因子) 第3回 健康と疾病2 (疾病の原因としての生活習慣と加齢、および日本の疾病構造の変化) 第4回 日本の医療供給体制と少子高齢化社会の現状 第5回 医療倫理と患者の権利1 (医師と患者の関係の変遷) 第6回 医療倫理と患者の権利2 (医療倫理の変遷と現代医療の倫理的問題) 第7回 現代医療における倫理問題についてのグループ討論 第8回 終末期医療と真実告知の諸問題
科目名	現代医療の成り立ちと諸問題		【学生へのメッセージ】 授業では、現代医療を概観する予定です。医学・医療に関する基礎的内容を紹介し、現代の医療について答えが明らかでない内容を考えてもらうことも目的とします。疾病や診断、治療などの詳細には触れない予定です。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容で自分が興味を持つ項目についてインターネットなどで調べておいてください。さらに、当日に質問事項や問題点などを発表してもらえると、授業が活発になると思います。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		【受講者が当日用意するもの】 計算機 (計算機能があるスマートフォン可)。
担当講師	ヤマモト ヒデユキ 山本 秀幸 九州看護福祉大学 特任教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【参考書】 ・現代医療論 第3版 (小坂樹徳、田村京子/株式会社メヂカルフレンド/¥2,860/ISBN=9784839233754) ・健康支援と社会保障制度〔1〕医療概論 (康永秀生/医学書院/¥2,200/ISBN=9784260042246) 上記2冊の参考書の表や図のいくつかを改変して授業のスライドとして使用します。スライドは資料として配付します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2678861	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 健康の為の統計情報が作成されるために必要なデータの収集方法を説明します。そしてデータの性質に応じた統計手法について説明します。さらに人の集団を対象に実施される調査データの解析において重要な視点を説明し、それらの解析を実際に統計ソフトを用いて一緒に実施します。 【到達目標】 自身の健康維持のために、健康に関連する統計情報がどのように作成されているのを理解し、正しく健康関連の統計情報を理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 統計学の基礎（検定と推定の考え方） 第2回 疫学について～人の健康についての研究のデザインと考え方～ 第3回 統計ソフトの使い方（データの整理、グラフの書き方） 第4回 平均と比率 第5回 ノンパラメトリック検定 第6回 相関と回帰 第7回 重回帰分析・ロジスティック回帰分析 第8回 保健統計資料の紹介 【学生へのメッセージ】 統計学の考え方をやさしく解説し、PC演習においても講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、数学が苦手な方やPC操作に自信がない人も安心して受講ください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 統計ソフトのJMPを事前にキャンパスメールにて利用登録（無料）し、インストールしておくこと。 最終講義の際にレポート問題を課します。講義が終わったら、講義資料についてしっかりと復習し、レポートに取り組んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 統計ソフトのJMPをインストールしたノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 Windows またはmacOS（ただしWindowsが望ましい）。 3. ソフトのインストール Excelおよび統計ソフトJMPが必要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	健康のための統計を理解する	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヨネモト コウジ 米本 孝二 琉球大学医学部教授	
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2678888	授 業 概 要	【授業内容】 先ず沖縄を特徴づける「島」をキーワードに、琉球列島の成り立ちやそこに生息する様々な生物などから、東洋のガラパゴスとも呼ばれる沖縄の自然環境の特性を概観します。さらに、沖縄の人たちが、どのように自然を上手く利用しながら暮らしてきたのかを、植物利用を中心に紹介します。そして、なぜ沖縄が世界自然遺産に登録されたのか、また登録によって見えてきた様々な課題について、自然環境の保全と観光の両面から解説します。第7、8回は、琉球大学博物館で授業に関連した実物標本を見ながら、それまでの学習内容を振り返ります。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 ・沖縄の自然環境の特性を、生物の進化を踏まえながら説明することができる。 ・リズムによる様々なデメリットについて理解し、その解決策について自らの考えを示すことができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 沖縄の自然環境の特性 第2回 やんばるの自然と環境問題 第3回 沖縄の外來生物 第4回 沖縄のホタル 第5回 沖縄の植物と人の暮らし 第6回 沖縄の世界自然遺産とこれからの課題 第7回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説1 第8回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説2
科目名	沖縄の自然環境と世界自然遺産		【学生へのメッセージ】 本土とは異なる沖縄の自然環境や生物の特性、また、そこに暮らしてきた人たちの自然との関わり方などから、私たちはこれからどのように自然と接していけば良いのかについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 ・沖縄の自然や環境問題について、自分が興味を持った問題を書籍やインターネットなどからいくつかピックアップしておいてください。 ・配布資料等を使って復習し、沖縄の自然が抱える様々な課題について自分なりの解決策を考え、実際にそれが課題の解決に繋がるかどうかをシミュレーションしておいてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況およびレポートの評点により行います。 なお、レポートは、後日提出です。
定員	15名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ササキ タケン 佐々木 健志 元琉球大学 博物館助教・学芸員		【その他(特記事項)】 第7、8回に琉球大学博物館で解説します。「学生教育研究災害傷害保険」(100円)及び「通学中等傷害危険担保特約」(40円)の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		
実施会場	1日目(11月8日) 沖縄学習センター 中講義室 2日目(11月9日) 第3・4時限 琉球大学博物館 (沖縄県西原町字千原1番地)		

科目コード	2668815	授 業 概 要	【授業内容】 心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関して説明します。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間中に指示します）。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようにする。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能、性格、無意識などの概説 第3回 心理検査の結果の解釈に重要な情報 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査 第5回 投影法心理検査とは 第6回 具体的な心理検査2 バウムテスト 第7回 心理尺度とは 第8回 具体的な心理検査3 心理尺度（タイプA性格）
科目名	心理検査法基礎実習		【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめて提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、赤鉛筆（赤ペンで可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。
担当講師	タナカ カンジ 田中 寛二 琉球大学 人文社会学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2678845	授 業 概 要	【授業内容】 平安時代中期に生まれてから現代に至るまで、国内外を問わず人々を魅了してきた『源氏物語』。血の通った人間たちが織りなす原作世界の奥行きを味わうことを中心に、個性的な現代語訳やリライトもの、漫画、舞台、映像作品など、現代におけるさまざまな再生作品も紹介します。第6回までは原作である『源氏物語』の概説と主な読みどころの解説、第7回・第8回は再生作品の紹介を予定しています。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 『源氏物語』のもつメッセージ性を理解し、その豊かな作品世界を味わうことができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 『源氏物語』の概説－作者、時代背景、概要など－ 第2回 『源氏物語』第一部の世界－光源氏の前半生－ 第3回 『源氏物語』第二部の世界－光源氏の後半生－ 第4回 『源氏物語』第三部の世界－宇治十帖の物語－ 第5回 『源氏物語』をいろどる女性たち－紫のゆかりと宇治のゆかり－ 第6回 『源氏物語』をいろどる女性たち－個性あふれる中の品（しな）－ 第7回 再生される『源氏物語』－小説家たちの訳業とリライト－ 第8回 再生される『源氏物語』－さまざまなビジュアル化－
科目名	『源氏物語』 －原作と再生作品		【学生へのメッセージ】 初めて『源氏物語』に触れる受講者も理解できる内容にします。原文も味わいますが、原文だけで読み込むレベルは目指さないで、高度な内容を期待する方は受講をお勧めしません。第8回後半に、受講してわかったことや感想等をレポートにまとめていただきます。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 第1回の授業でウォーミングアップを兼ね、『源氏物語』についてコメント（好きな登場人物、触れた機会、興味を抱いた理由等なんでも）していただきますので、ご準備ください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	28名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ハギノ アツコ 萩野 敦子 琉球大学教育学部教授		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2678802	授 業 概 要	【授業内容】 西洋の絵画や彫刻作品に「何が描かれているのか」を正しく理解して、鑑賞をより深めるためには、図像学の知識が不可欠です。 この講義では、《受胎告知》や《最後の晩餐》をはじめとする宗教画、また《ヴィーナスの誕生》といった古代ギリシア・ローマ神話を主題とした神話画の著名な場面を描いた美術作品を、毎回、多数のスライドで鑑賞しながら、各々の物語とその解釈法を詳しく解説します。その背景にある西洋文化への理解も深め、作品鑑賞を楽しみます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 西洋図像学の基礎知識を身につけて、宗教画や神話画を中心とした代表的な主題を理解し、表現された意味内容の概要を説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 ガイダンス：美術史と図像学（イコノグラフィー） 第2回 アトリビュートと擬人像 第3回 神話画：ウェヌスとクビド 第4回 神話画：アポロとバックス 第5回 神話画：ヘラクレス 第6回 宗教画：旧約聖書 第7回 宗教画：新約聖書（1）マリア伝 第8回 宗教画：新約聖書（2）キリスト伝
科目名	西洋図像学入門		【学生へのメッセージ】 美術作品は、感性だけをたよりにすれば楽しめると思われるかも知れませんが、図像学（イコノグラフィー）の基礎知識を身につけることで、より良く作品を鑑賞できるようになり、西洋の文化的背景への理解も深まるでしょう。
科目区分	導入科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 事前に、西洋美術史の概説書（ここに挙げた参考書をはじめ、概略的なもので良い）を読み、古代から近代（19世紀頃）に至るまでの、大まかな流れを理解しておいてください。
ナンバリング	220		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	40名		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート（講義中は、講師が説明した内容を、自分なりにノートにまとめましょう）。
担当講師	フナオカ ミホコ 船岡 美穂子 放送大学准教授		【教科書】 教科書は使用しません。
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【参考書】 ・増補新装カラー版西洋美術史（高階秀爾（監修）／美術出版社／¥2,090／ISBN=4568400643） ・西洋美術解説事典（ジェイムズ・ホール著、高階秀爾監修／河出書房新社／¥4,730／ISBN=4309291406）
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2678837	授 業 概 要	【授業内容】 園芸福祉の活動や実践を通して、どのような効用・効果が得られるのか、また、園芸福祉でいうところの園芸の範囲にはどのようなものが含まれ、身近なところで活用できる材料や方法には何があるのかなど、受講者の考えを聞きながら授業を進めます。さらに、福祉（well-being）が意味する内容について、講義、写真、動画などを通して理解をしていく授業とし、簡単な実施プログラムの計画ができるようになります。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 ①園芸福祉の概念を理解し説明できるようになる。 ②園芸福祉の効用について学び、精神的・心理的効果が説明できるようになる。 ③誰もが楽しめる園芸福祉ガーデンの技法を理解し、説明できるようになる。 ④園芸福祉の考え方に則った実施プログラムを計画することができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 園芸福祉の概念 第2回 園芸福祉の効用 第3回 園芸福祉の健康効果 第4回 園芸福祉によるコミュニティ 第5回 園芸福祉の材料 第6回 園芸福祉ガーデンの事例 第7回 誰もが楽しめるようなガーデンのために 第8回 園芸福祉の実践プログラムづくり
科目名	園芸福祉入門		【学生へのメッセージ】 植物が身近にある生活には、うるおいや安らぎを感じることができます。植物との関わりを生活の中に取り入れ、生活の質を向上させていく活動・実践が園芸福祉です。園芸活動が持つもう一つの意味・役割を一緒に学びましょう。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講前の準備学習等】 自身の生活と植物がどこで関わっているのか、どのような意味があるのかについて、周囲を見回して考えをまとめておいてください。
ナンバリング	310		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	アカミネ ヒカル 赤嶺 光 琉球大学農学部教授		【参考書】 ・園芸福祉入門（日本園芸福祉普及協会編／創森社／¥1,676／ISBN=9784883402083）
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2678772	【授業内容】 「異文化」という言葉はよく耳にしますが、具体的にはどのようなことを指すのでしょうか。異文化に触れることで何が得られるのでしょうか。本講義では、言葉と文化の関係を探り、日本のポップカルチャーやジェスチャーを通じて文化の違いを体験します。日本語学習者の視点から異文化コミュニケーションの違いを考え、日本語のジェンダー表現や敬語、あいづちの習慣を学び、誤解を避ける方法を探究します。さらに、日本語教師の視点から異文化を理解し、多様な価値観を尊重する姿勢を養います。学びを通じて、異文化理解を深めましょう。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	日本語で広がる異文化	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	210	
定員	22名	
担当講師	<small>ショウ マキコ</small> 尚 真 貴 子 沖縄国際大学特任教授	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	
	【到達目標】 ・異文化コミュニケーションを円滑にするために、言葉と文化の関係を理解し、価値観の違いを的確に判断できるようになる。 ・日本のポップカルチャーやジェスチャーを通じて異文化を体験し、多様な文化の特徴や考え方が理解できるようになる。 ・日本語のジェンダー表現や敬語、あいづちの習慣を学び、誤解を防ぐ適切なコミュニケーション方法が身につく。	
	【授業テーマ】 第1回 日本のポップカルチャーと異文化理解 第2回 日本語とジェスチャー 第3回 日本語を学ぶ外国人との異文化交流 第4回 異文化コミュニケーションと言葉の誤解 第5回 日本語とジェンダー 第6回 日本の言葉と習慣 第7回 日本語教師から見る異文化 第8回 まとめ(振り返り)	
	【学生へのメッセージ】 一方的に伝えるのではなく、意見交換を重視した双方向型の授業です。グループワークやディスカッションを通じて協力しながら学び、実践的な理解を深めます。主体的に参加し、楽しく学びましょう。	
	【受講前の準備学習等】 シラバスに記載されている各回の講義テーマを事前に確認し、関連する内容について自己学習を行ってください。	
	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
	【参考書】 ・まんが クラスメイトは外国人 入門編 ーはじめて学ぶ多文化共生ー (「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会/明石書店/¥1,320/ISBN=9784750338255) ・まんが クラスメイトは外国人 課題編 (第2版) ー私たちが向き合う多文化共生の現実ー (「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会/明石書店/¥1,430/ISBN=9784750353951)	
	【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。	

科目コード	2668793	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における実験的研究を3つ（ストループ効果、短期記憶検索、SD法）取り上げます。 受講生の皆さんは、それらの実験に実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	20名	【授業テーマ】 第1回 心理学の研究法 第2回 ストループ効果の実験1 第3回 ストループ効果の実験2 第4回 心理学的なレポートの作成について 第5回 短期記憶検索の実験1 第6回 短期記憶検索の実験2 第7回 SD法1 第8回 SD法2
担当講師	ヒロセ ヒトシ 廣瀬 等 琉球大学教育学部教授	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	【学生へのメッセージ】 心理学的な研究法を習得するということの中には、単に実験や調査に参加するだけでなく、得られたデータをパソコンで集計・分析すること、科学的な形式でレポートにまとめることも含まれます。やることは非常に多いので、積極的な参加意図を持って受講してください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続は不要です。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター 実習室	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2678853	授 業 概 要	【授業内容】 琉球弧の島々では、山・川があり田んぼで稲作を営むことのできる高島を田の国「タンゲン島」と呼び、川がなく水の確保に苦労をし、ムギやアワなどの畑作が中心だった低島を、野の国「ヌンゲン島」と呼び分けてきました。このように琉球弧の島々では、それぞれの自然環境に応じて、固有のことばや文化、生命観、在来知、技術、道具、芸能などを発達させてきました。本授業では、自然と人との関わりから、琉球弧の民俗文化について考えます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 琉球弧の民俗文化の多様性について、具体的な事例から理解することができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 琉球弧の生物多様性と文化多様性 第2回 水の民俗文化 第3回 衣の民俗文化 第4回 食の民俗文化 第5回 住の民俗文化 第6回 ミニフィールドワーク①琉球大学キャンパス散策 第7回 ミニフィールドワーク②琉球大学キャンパス散策 第8回 まとめ-生物文化多様性とは何か
科目名	琉球弧の民俗文化 -自然と人-		【学生へのメッセージ】 この授業では、実際の植物や岩石、民具などの標本を手にしながら、琉球弧の民俗文化の特徴について考えます。
科目区分	専門科目：人間と文化		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	22名		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	高橋 ぞよ <small>タカハシ ソヨ</small> 琉球大学 人文社会学部准教授		【参考書】 ・沖縄・素潜り漁師の社会誌 サンゴ礁資源利用と島嶼コミュニティの生存基盤 (高橋ぞよ/コモンズ/¥4,070/ISBN=9784861871498)
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他(特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」(100円)及び「通学中等傷害危険担保特約」(40円)の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
実施会場	沖縄学習センター 小講義室		

科目コード	2678870	【授業内容】 この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックスタイプ講義です。 科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。 HK → 学習センター HL → 自宅等（Zoom） ※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。 人工知能（AI）とは、人間の知的活動をコンピュータで実現する情報技術を指します。AI技術に含まれる機械学習は、データから統計的なパターンを自動で獲得し、未知のデータに対する予測を行うもので、機械学習が内包する深層学習（ディープラーニング）の流行や、プログラミングで実装しやすくなったことで注目を集めています。 本講義では機械学習の原理について数式でしっかりと理解し、実際にプログラミングしてみることで、実践的な理解を深めることを目的としています。 【到達目標】 データに基づいた意思決定をするために、機械学習の基礎について理解し、適用すべきモデルを的確に判断しプログラミングできるようになる。 【授業テーマ】 第1回 AI・機械学習の準備 第2回 Python（プログラミング）の基本 第3回 グラフの描画（プログラミング） 第4回 AI・機械学習に必要な数学の基本 第5回 教師あり学習（回帰） 第6回 教師あり学習（分類） 第7回 教師なし学習 第8回 要点のまとめ 【学生へのメッセージ】 授業中にプログラミングを行います。事前に教科書のとくに第2と3章に目を通しておくと、効率良くスキル習得できるかと思えます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・Googleアカウントあるいは放送大学キャンパスメールアカウントにログインできることを確認してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 ・Pythonで動かして学ぶ！あたらしい機械学習の教科書 第3版（伊藤真／翔泳社／¥2,970／ISBN=9784798171494） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	HK	
科目名	AI・機械学習入門	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2678870	【授業内容】 この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックスタイプ講義です。 科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。 HK → 学習センター HL → 自宅等（Zoom） 本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を必ずご確認ください。 ※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	HL	
科目名	AI・機械学習入門	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	▲自宅等（Zoom）	
授業概要	【授業テーマ】 第1回 AI・機械学習の準備 第2回 Python（プログラミング）の基本 第3回 グラフの描画（プログラミング） 第4回 AI・機械学習に必要な数学の基本 第5回 教師あり学習（回帰） 第6回 教師あり学習（分類） 第7回 教師なし学習 第8回 要点のまとめ 【学生へのメッセージ】 授業中にプログラミングを行います。事前に教科書のとくに第2と3章に目を通しておく、効率良くスキル習得できるかと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。 Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
要	【受講者が当日用意するもの】 1. マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・Googleアカウントあるいは放送大学キャンパスメールアドレスにログインできることを確認してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。	
	【教科書】 ・Pythonで動かして学ぶ！あたらしい機械学習の教科書 第3版（伊藤真／翔泳社／¥2,970／ISBN=9784798171494）	
	【その他（特記事項）】 Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。また、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに1時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、4～5時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。また、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。 なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

★沖縄学習センター【ライブWeb授業】実施科目(47A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の1科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4001605	<p>【授業内容】 脳の情報処理を模したAIであるニューラルネットワークを多層構造にしたものをディープラーニング（深層学習）と言います。深層学習は、画像や文章から例えばそこに描かれているものが犬か猫か、人間と同じように予測できます。 本講義では、深層学習の各モデルの大まかな仕組みとそれによって実現できる機能について事例とデモンストレーションを通じて学び、正しい基礎知識とAIを適切に活用できる能力を育むことを目標とします。</p> <p>【到達目標】 画像や文章から意味のある情報を抽出するために、ディープラーニングの概要について理解し、課題に合わせた手法を的確に判断できるようになる。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 画像分類 第2回 Grad-CAM 第3回 セグメンテーション 第4回 画像生成 第5回 Word2Vec 第6回 テキスト分類 第7回 アテンション 第8回 テキスト生成</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業中に扱った深層学習モデルのデモンストレーションに関するプログラミングコードについては授業後に配付予定ですので、復習や発展的な学習に活用してみてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web (Zoom) 授業の受講に必要な設定等の準備をしてください。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 ・深層学習教科書 ディープラーニング G検定 (ジェネラリスト) 公式テキスト 第2版 (猪狩 宇司、今井 翔太、江間 有沙、岡田 陽介、工藤 郁子、巢籠 悠輔、瀬谷 啓介、徳田 有美子、中澤 敏明、藤本 敬介、松井 孝之、松尾 豊、松嶋 達也、山下 隆義/翔泳社/¥3,080/ISBN=9784798165943)</p> <p>【その他 (特記事項)】 専用のシステム上で教材・資料を配付します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義 (Zoomミーティング) へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。詳細については、 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/を参照ください。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	WK	
科目名	★事例から学ぶ AI・深層学習	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程実施時間	11月14日(金) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月21日(金) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月28日(金) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月5日(金) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	